

事業所名 有限会社ナカヤマ製作所

報告者 2年男子



【事業所の概要と自分の仕事内容】

従業員数 21名

設立 昭和46年2月

主に、自動機械の部品を加工している。

体験内容は、その部品を作るための加工前の素材を機械にセットして、加工する。

【この仕事の使命、役割、やりがい】

様々な自動機械（主に事務作業や工事作業を自動で行う機械のことをさす）に使われている部品のカスタムパーツを客先のオーダーに併せて作り、必要としている企業へ納品している。

加工している製品が、様々な企業で使われていることを誇りに思いながら仕事をしているのだと思った。

【体験前の自己目標、それに伴う自分の行動、できたこと】

今回の就業体験の目標は「仕事で大切なことは何か、大変なことは何かを知ること」でした。実際に体験してみて、失敗しないことはもちろん、安全に作業をすることが大切であり、立ち仕事で慣れないことも大変ということがわかりました。

【社会とのギャップ、気付いた事、できなかったこと】

仕事をするうえで、一つのことに集中しすぎるのではなく、周りの音など常に意識しつつ、作業をしていかなければならないことを理解することができたし、一つ一つの手順をしっかりとし失敗を少なくすること、少しの誤差も見逃さず修正していくこと、できるだけ機械を止めずに、機械を動かさなくてもやれる作業を行い時間を無駄にせず作業をしていくことが大切だと気付くことができた。

【これからの目標（進路、行動、話し方、考え方など）】

今回の体験を生かして、自分は将来何がしたいのか、どのような職種が向いているのかが理解できた。これからいろいろ調べながら進路に対する考えを深めていきたいと思った。

今後の学校生活では仕事をするうえで大切なことは、特に「人と人とのコミュニケーション」を大切にし社会に出ても困らないようにすること。「言葉づかい」や「聞き方」も大切であることを意識して生活していきたい。

今回の就業体験では仕事の大変さを実感し、1日仕事をするとかかなり疲れることがわかった。しかし、たとえ疲れていても一つ一つの作業に責任を持ち、良い製品を作らなければならないことが分かった。高校生のうちから自分がやる役割に責任を持って行動して周りの人に迷惑のかからないように日々生活していきたい。

